学校番号	1007

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	保育基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「保育基礎」　（教育図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

保育の意義や子どもの発達・生活・文化に関心をもち、積極的に取り組みましょう。
・胎児や子どもの発達特性や発達過程、保育などについて、理解を深め、知識を身につけます。
将来社会の一員として子どもを育み、支援できる力を身につけましょう。
・実践的・体験的な学習をとおして、科学的な理解に基いた確かな技術を身につけます。〇〇

2　学習の到達目標

〇子どもを一人の人間として尊重し、保育を担う職業人としての必要な基礎的な資質・能力を身につけることをめざす。
【知識及び技術】
・保育や子どもの福祉などに関する知識の習得、また子どもの発達の特徴や生活、文化に関する知識と技術を習得させ、保育や子育て支援に寄与する能力と態度を養う。
【思考力、判断力、表現力等】
・子どもや養育者を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として社会および環境の変化に対応した解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
・子どもの健やかな発達をめざして自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	子どもの発達や保育などに関する基礎的・基本的な知識や技術を身につけている。	子どもの発達や保育などについて関心をもち、課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	子どもの発達や保育などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	子どもの保育	・保育の意義 ・保育の方法 ・保育の環境	a:・月齢や年齢に応じた保育者のかかわり方や家庭、社会全体で協力して子育てすることの大切さを理解する。 ・家庭保育、集団保育や保育所、幼稚園、認定こども園の違いをそれぞれ理解する。 b:・家庭保育や集団保育の現状と課題について情報を収集し、自分の意見を持つことができる。 c:・現代の保育や家庭・社会を取り巻く課題について関心を持ち、意欲的に学習に臨んでいる。 ・自分の現在、将来と結びつけながら考え、学習しようとしている。	・授業観察 ・レポート ・作品制作 ・定期考査	・授業観察 ・レポート ・作品制作 ・発表 ・グループワーク ・定期考査	・授業観察 ・レポート ・自己評価 ・ワークシート
	子どもの発達	・子どもの発達の特徴 ・子どものからだの発達 ・子どもの心の発達	a:・子どもの発達の順序性や個人差について理解し、誕生から幼児期までの心身の発達について理解する。 ・乳幼児期が人間の発達段階において重要な時期であることを理解する。 b:子どもが自己を形成していくにあたり、愛着関係が土台となることを説明することができる。 c:・乳幼児の発達のめざましさや心の発達過程の複雑さ、多様さなどについて関心をもって学習に取り組もうとしている。	・授業観察 ・レポート ・作品制作 ・定期考査	・授業観察 ・レポート ・作品制作 ・発表 ・グループワーク ・定期考査	・授業観察 ・レポート ・自己評価 ・ワークシート

二学期	子どもの生活	・子どもの生活と養護 ・生活習慣の形成 ・健康管理と事故防止	a:・乳幼児の用語の必要性や目的をふまえ、その発達段階に応じた適切な用語の方法や生活援助のための方法が選択できる。 ・子どもの日常生活における世話の仕方について、また自立への手助けについて心がけるべきことを理解する。 b:・食事や衣服、遊びが生活習慣の形成や心の発達に及ぼす影響、また、基本的生活習慣や社会的生活習慣の習得について、その意義や重要性について考え、まとめたり発表したりしている。 c:・実際に自分が乳幼児の世話を行う立場になったときのことを考えながら積極的に取り組もうとしている。	・授業観察 ・レポート ・作品制作 ・定期考査	・授業観察 ・レポート ・作品制作 ・発表 ・グループワーク ・定期考査	・授業観察 ・レポート ・自己評価 ・ワークシート
	子どもの文化	・子どもの文化の意義を支える場 ・子どもの遊びと表現活動	a:・遊びをとおして育つ子どもに欠かせない子どもの文化には、どのようなものや場があるか理解する。 ・子どもの発達に応じた課題、表現活動の重要性を理解し、必要な知識と実践力を身につけている。 b:・伝統的に受け継がれている遊び活動から、近年新しく登場した遊びまで、それぞれの特徴を比較し、まとめたり発表したりしている。 c:・発達段階に応じた簡単な児童文化財を製作しようとしている。	・授業観察 ・レポート ・作品制作 ・定期考査	・授業観察 ・レポート ・作品制作 ・発表 ・グループワーク ・定期考査	・授業観察 ・レポート ・自己評価 ・ワークシート
三学期	子どもの福祉	・子ども観 ・子どもの福祉 ・子育て支援	a:・子どもを取り巻く課題と対策や子育て支援の実情を理解する。 b:・子育て支援について、課題を見出し、その解決をめざして適切に判断し、表現することができる。 c:・安心、安全な保育と子育て支援を実現するために、自分にできることは何かを主体的に考え学習に臨んでいる。	・授業観察 ・レポート ・作品制作 ・定期考査	・授業観察 ・レポート ・作品制作 ・発表 ・グループワーク ・定期考査	・授業観察 ・レポート ・自己評価 ・ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度